

令和5年（2023年）度 デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）に係る事業実施結果報告

No	事業	事業費（予算額） 単位：円	委託（連携）先	内容
1	母子健康手帳アプリによる小児予防接種支援事業	3,768,000	・母子モ株式会社 ・株式会社ケイズ ・岡山県医師会 ・勝田郡医師会 ・圏域の医療機関	予診票と接種記録をデジタル化することで、保護者・医療機関・自治体の手間を削減し、簡単で安全な予防接種を実現する事業。 ・予防接種スケジュールをアプリで管理 ・基本情報はデジタル予診票に自動記入 ・同時接種の際に重複する内容を一括入力 ・家族で共有
2	キャッシュレス導入による公共サービスデジタル化推進事業	3,731,000	・株式会社ビジコム ・株式会社三井住友カード ・株式会社ケイズ ・コンビニ各社	介護保険料や保育料等をコンビニ収納に対応させ、キャッシュレス決済も利用できるようにする事業。さらに、文化ホール事業のチケット代、美術館の入館料、ギャラリー使用料等の支払いにキャッシュレス決済を導入し、市民の利便性の向上を図るもの。 【本事業でキャッシュレス決済等に対応させた公金等の種類】 ・文化ホールチケット代 ・美術館の入館料、ギャラリー使用料 ・公民館収入 ・介護保険料 ・後期高齢者医療保険料 ・保育料 ・町営住宅使用料
合計		7,499,000		

No	① 事業の名称	② 担当部署	③ 実績額 単位：千円	④ 本事業における重要業績評価指標（KPI）				⑤ 本年度終了時における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値 (2023年度末)	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	母子健康手帳アプリによる小児予防接種支援事業	総務部	3,185,600	指標① 母子健康手帳アプリの登録者数	280	人	R6.3	362	デジタル技術を活用した 地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった。	電子化するメリットは十分ある。引き続き丁寧に説明し、アプリ利用者や登録医療機関の増加につなげてほしい。一方、利用者満足度が計測されていないことは残念だ。アプリ利用者が適切に満足度を入力できるよう、効果的な広報に努めてほしい。	事業の継続	予防接種サービスとは、予防接種に必要な予診票や接種記録をデジタル化することで、保護者や医療機関、自治体それぞれの負担軽減やミスの防止、作業効率の向上が期待されるものである。母子健康手帳アプリの認知度の高まりを受けて、登録者数は順調に推移しているものの、予防接種機能を登録（システム連携）している医療機関が少ないのが課題。電子化するメリットを丁寧に説明し、利用者（登録医療機関）の増加につなげていく。
指標② 導入医療機関数	15	箇所	R6.3	4									
指標③ アンケートによる利用満足度（5段階評価）	2.8	ポイント	R6.3	0									
指標④													
指標⑤													
2	キャッシュレス導入による公共サービスデジタル化推進事業	総務部	3,139,840	指標① 対象施設におけるキャッシュレス決済比率	3	%	R6.3	8.61	デジタル技術を活用した 地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった。	生活様式の変化をとらえた施策。KPI（満足度）が高いのも納得できる。利用機会をますます増やし、利用者（市民）の選択肢を増やす努力を続けてほしい。	事業の継続	本事業は、介護保険料や保育料等の税金等の支払いをコンビニでも行えるようにするとともに、文化ホールや美術館等のチケット代、入館料の支払いをキャッシュレス決済に対応させることを目的に実施したものである。生活様式の変化を受け、キャッシュレス決済の利用層は多く、満足度はおおむねKPIを達成している。今後も利用者の増加に向け、PRに努めていく。
指標② 使用料等のキャッシュレス決済比率	0（初年度は納付書発行しないため）	%	R6.3	未計測									
指標③ アンケートによる利用満足度（5段階評価）	2.8	ポイント	R6.3	4.51									
指標④ キャッシュレス決済利用者の利用満足度（5段階評価）	0（初年度は納付書発行しないため）	ポイント	R6.3	未計測									
指標⑤													

事業費 合計 6,325,440

デジタル田園都市国家構想交付金 確定額 3,162,720 （事業費の1/2の額）